

看護学科便り

山形県立保健医療大学看護学科広報誌

春便り

2021年

4月28日発行

夢に向かって 71名の新たな スタート

令和3年度、看護学科に1年生63名、3年次編入生3名が、また大学院の看護学分野には博士前期4名、博士後期課程1名が入学となり、総勢71名が本学にて新たなスタートを切りました。

今年度は昨年度同様、新型コロナウイルス感染症予防のため、入学式は中止となつてしまいました。その後の新入生オリエンテーションは、感染予防策を十分に講じた上で、対面で行われました。新入生の皆さんはこれから始まる大学生活に向け、熱心に耳を傾けていました。

新入生にお話を 聴きました



看護学科1年
中村 咲楽さん

—オリエンテーションが一通り終わり、これから大学生活が始まりますがいかがですか？

中村さん 私は助産師さんになりたくてこの大学に来ました。オリエンテーションでは自分から学ぶ姿勢を持ってほしいというお話があり、改めて自分の夢に向かって頑張りたいと思います。

—これから楽しみにしていることや、やりたい事は？

中村さん 助産師の勉強はもちろん頑張っていきたいし、サークルも、バンドサークルが気になってるので、そこで人間関係を広めていって、たくさんの人から色々吸収していけたらいいなと思っています。

ご入学 おめでとうございます

SOZAI GOOD

